

Q14 教科の指導時間を削って自立活動にあてているので、教科指導にかける時間が減ってしまいます。



特別支援学級担任

自閉症・情緒障がい特別支援学級の場合、カリキュラムが通常学級と同じであるため、教科の授業を削って行わなければならない、特定の教科が遅れがちになります。



通級指導教室担当

通級指導の時間を増やすと、在籍学級での教科学習の時間が減ってしまいます。自立活動の時間の割合はどうすればよいのでしょうか。



特別支援学級担任

保護者の願いとして「学年相応の学習が理解できるようになってほしい」というものがあり、国語や算数の時間とのバランスの取り方が難しいです。

A 自立活動の目標を達成するという前提で、各教科等との時数のバランスを取ると共に、児童生徒の実態等から根拠を示して、自立活動の時数を検討します。

設定した自立活動の目標を達成するために必要な時数という視点と、各教科等（通級による指導においては、在籍学級の各教科等）の時数とのバランスの視点から、自立活動にあてる時数を検討します。

例えば、難聴の児童生徒の場合、音楽の時間を減らして、聴覚学習や発声・発語の学習をする、肢体不自由の児童生徒の場合、体育を減らして身体活動の基礎となる上肢のコントロールの学習をする等、障がいの特性に応じて自立活動にあてる時間を確保する考え方があります。

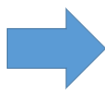
また、例えば、自閉症・情緒障がい等（知的障がいを除く）の特別支援学級の場合、少人数で授業を行うため、通常の学級よりも授業の進行を早くすることで、各教科等全体から又は特定の教科等の時間を減らして、自立活動にあてる考え方もあります。

他方、自立活動の授業時数を、各学年の標準の総授業時数に加えることもできます。ただ、その場合、児童生徒の実態及びその負担過重について十分考慮する必要があります。

保護者に、自立活動の意義や内容を含め教育課程の説明をして、自立活動の取組の理解を得ることも必須です。

小学校4年生の標準授業時数		自閉症・情緒障がい特別支援学級		知的障がい特別支援学級	
教科等名	時数	教科等名	時数	教科等名	時数
国語	245	国語	230	国語	175
社会	90	社会	90	算数	140
算数	175	算数	175	音楽	60
理科	105	理科	105	図画工作	60
音楽	60	音楽	50	体育	105
図画工作	60	図画工作	50	生活単元学習	195
体育	105	体育	105	日常生活の指導	140
特別の教科 道徳	35	特別の教科 道徳	35	総合的な学習の 時間	70
特別活動	35	特別活動	35	外国語活動	35
総合的な学 習の時間	70	総合的な学 習の時間	70	自立活動	35
外国語活動	35	外国語活動	35	合計	1015
合計	1015	自立活動	35		
		合計	1015		

特別の教育課程



左記は、自立活動の時間を設定した特別支援学級の時数の例です。

